

リベラルアーツ国語 学習指導案（全22回／44時間）

これは私が担当していた学年の生徒たちと作ったロゴです。

「BE INDEPENDENT. MY PRIDE」よじのせ

「自分で喰っていけるようになれ」という意味です。

ロゴの円は人の一生を表しています。

円の一部が欠けているのは

もうそれだけ、

人生が終わってしまったことを意味しています。

中心から延びる一本一本の線は

矢の形になっています。

光陰矢のごとしです。

うかうかしてはいられません。

入学式から卒業まで、

私はずっと言い続けます。

「自分で喰っていけるようになれ。

そのためのチカラをつけるのが学校だ」と。

ここに込められているのは

「自立して生きていく力を身につけてほしい」という願いです。

他者への過度な依存に流されるのではなく、

自分自身で立ち上がり、

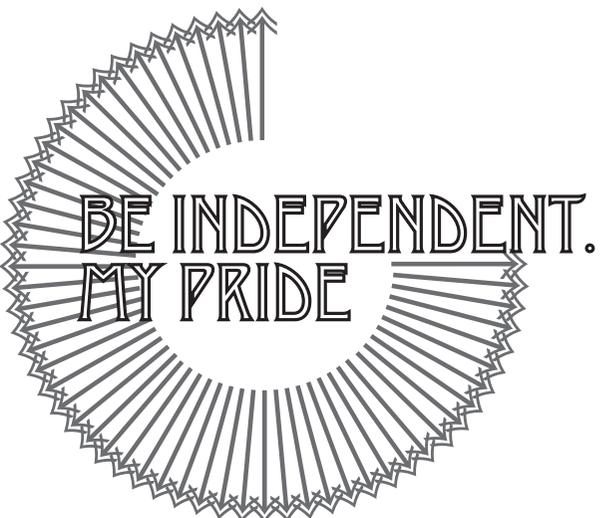
人生に挑み続ける。

そのような心意気を

このロゴは象徴しているのです。

「リベラルアーツ国語」の授業は、

このロゴに込められた願いを実現すべく設計されています。



- ①【1】「リベラルアーツ国語」の目標を知る。
- ②【1】「箸をはさんで立ち上がる」を通して他者の気配を感じ取る体験をする。
- ②【1】「背中合わせで立ち上がる」を通して他者の気配を感じ取る体験をする。
- ②【2】共働することの喜びを経験する。
- ③【1】「安らぐ」レッスンを通して、みずからのからだのこわばりに気づく(「身構え」に気づく)。
- ③【2】「触れる」レッスンを通して、個別化され閉じられた「からだ」から出発して他者へ至ろうとする過程を体験してみる。
- ③【3】「息合わせ」のレッスンを通して、「息を合わせる」という言葉をからだレベルで実感する。
- ④【1】「おたすけオニ」を通して、助ける／助けられる体験をする。
- ④【2】「ティッシュ吹き(一人で)」を通して、強く息を吐く体験をする。
- ④【3】「ティッシュ吹き(二人組)」を通して、協力する体験をする。
- ⑤【1】「サークル・スイッチ」を通して、視線のやり取り、冒険する感覚を体験する。
- ⑤【2】「ボール回し(名前を呼んで)」を通して他者を見ること・他者の都合を斟酌することを体験する。
- ⑥【1】「新聞パンチ」を通して、いま・ここに集中する経験、力を出す体験をさせる。
- ⑥【2】「新聞パンチ」を二人組で行うことを通して、相談する経験、力を合わせる体験をさせる。
- ⑦【1】「目かくしウォーキング」を通して五感を蘇らせる体験をする(目かくしする者)。
- ⑦【2】「目かくしウォーキング」を通して責任を持って人に接する体験をする(誘導する者)。
- ⑧【1】「間違い探し」を通して、相手をよく見る体験をする。
- ⑧【2】「形を作る」を通して、こだわりなく動く経験を積む。
- ⑨【1】「イエスアンドサークル」を通して、自分で判断して話すことへの抵抗感を低減させる。
- ⑨【2】「形を作る(相談バージョン)」を通して、答えのない問いに向かって皆で話す経験をさせる。
- ⑩【1】「マイムしりとり」「風景ポーズ」を通して、人任せにしない、自分の判断で動く体験をする。
- ⑩【2】「形を作る」を通して、こだわりなく動く経験を積む。
- ⑩【3】「想像の縄跳び」を通して、ないものを想像で見る、という経験を積ませる。
- ⑪【1】「コントロールタワー」を通して、声を出す／聞くことの練習をはじめめる。
- ⑪【2】「短いシーンを作る」ことを通して、話し合って何かを作るという作業がとれただけでいいのか、生徒の現況を把握する。
- ⑪【3】「想像の縄跳び」を通して、ないものを想像で見る、という経験を積ませる。
- ⑫【1】「コントロールタワー」を通して、声を出す／聞くことの練習をはじめめる。
- ⑫【2】「短いシーンを作る」ことを通して、話し合って何かを作るという作業がとれただけでいいのか、生徒の現況を把握する。
- ⑬【1】「短いシーンを作る」(2回目)を通して、話し合うこと、普段の自分と別の役割になることの練習をする。
- ⑬【2】「5人の計画」を通して、話し合いの中でいつもの自分とは違う役割を果たす体験をする。
- ⑭【1】「短いシーンを作る」(3回目)を通して、話し合うこと、普段の自分と別の役割になることの練習をする。
- ⑮【1】他者に対する反応の仕方の傾向(オファーの仕方、リアクションの仕方)を自覚し、気まずくない話し方のポイントを知る。
- ⑯【1】「偏愛マップ」合コン、イエスアンドサークルを通して、自分のレスポンスのクセに自覚的になり、やりとりが成立する応答の仕方を身につける。
- ⑰【1】前時2時間で学んだ、やりとりを妨げない応答の仕方の定着を図る。
- ⑱【1】前時までの2つの流れ(話し合うこと、状況に入って演じること)を統合する課題(ティピカル・ストーリー)に取り組みこむを通して、次時より取り組む第2期のまとめの課題への足慣らしをさせる。
- ⑲【1】話し合うこと、こだわりなく動くこと、自分で判断することの3点がどれくらい定着しているか図る。
- ⑳【1】「グループで話すこと」「こだわりなく動くこと」「自分で判断すること」という2期の目標がどれくらい達成できているかを、短いシーンの上演を通して各生徒が自覚し、省みる。
- ㉑【1】「ズキユンときた本／ことばを紹介する」ワークを通して、本／ことばを生きる支えとする態度を養う。
- ㉑【2】個人的な思いをことばにする練習をする。
- ㉒【1】「誰の話?」を通して、自意識をコントロールする術に気づく。

リベラルアーツ国語 学習指導案①

指導者

1日時 年 月 日(曜日)第 時限

2学級 学校 第 学年 組 計 名

3教室 年 組 教室

4本時の目標 【1】「リベラルアーツ国語」の目標を知る。

【2】「箸をはさんで立ち上がる」を通して他者の気配を感じ取る体験をする。

5準備する物 授業プリント、参加人数の1/2にあたる数の割った割り箸

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	<p>① 出欠をとる。</p> <p>② 「リベ国」の目標を知る。</p>	<p>② 授業プリントを配布し、メモ欄に書き込ませる。</p> <p>(1) 社会に出てから生き延びる力をつけるのが目標。</p> <p>(2) 大きく3部に分かれる。</p> <p>1部は1対1。</p> <p>2部はグループで。</p> <p>3部は一人でことばと向き合う。</p> <p>(3) 毎時の授業プリント、自己評価、観察で評価する。</p>	15分
展開①	<p>③ 並び替え。</p> <p>(1) 基準を決めて(例…誕生日順)、並び終わるまでの秒数を測りながら全出席者を並び替える。</p> <p>(2) 途中で振り返りシート問1を記入する。</p>	<p>③</p> <p>(1) 秒数を決めて、その秒数以内で並び替えができるまで何度でもやらせる。</p> <p>(2) 口頭で問いを示す。</p> <p>問1「どうやったら早く並び替えができる?」</p>	20分
休憩(10分)			
展開②	<p>④ 出席確認。本時の活動内容について知る。(5分)</p> <p>⑤ 箸をはさんで立ち上がる。(10分)</p> <p>(1) やりかたを知る。</p> <p>(2) 箸をはさんで立ち上がるを実施する。(5分)</p> <p>(3) 授業プリント問2を記入する。(3分)</p> <p>(4) 並び替え。(2分)</p> <p>(5) 並び替えをしたペアで再度、箸をはさんで立ち上がるを実施する。(15分)</p> <p>(6) 授業プリント問3を記入する。(5分)</p>	<p>④「今日の授業は、他者の気配を感じ、自分も反応しにくくことをやります」</p> <p>⑤ 前時の最後に並び替えた二人一組で実施。</p> <p>(1) 「目を閉じて、お互いの人さし指で割り箸を支えたまま、立ち上がる。立ち上がったら割り箸を落とさぬように一人が一回転する」「立ち上がる時、声をかけてはいけない。お互いの呼吸で判断して立ちあがること」「あらかじめどちらが回るか決めてはいけない」「おしゃべりしてはいけない」「箸を落としたら最初からやり直し」と確認する。</p> <p>(2) 巡視し、ルールどおりに実施させる。できたペアはもう一度やらせる。</p> <p>(3) 相談させない。自分の感じたことを言葉にするよう促す。</p> <p>問2「どうやったらうまく回れる?」</p> <p>(4) 基準を決めて(例…誕生日順)、並び終わるまでの秒数を測りながら全出席者を並び替える。秒数が短縮されたら、指摘して褒める。</p> <p>(5) 巡視し、ルールどおりに実施させる。できたペアはもう一度やらせる。出来てしまったペアは他のクラスメートを応援に行かせる。クラスのすべてのペアができることを目指す。自分ができたら遊んでしまう生徒をよく見ておく。</p> <p>(6) 相談させない。自分の感じたことを言葉にするよう促す。</p> <p>問3「相手を替えたらどんな感じの違いがあった?」</p>	45分
まとめ	<p>⑥ 授業プリント問4を記入する。(10分)</p>	<p>⑥ 問4「箸のレッスンを通して、「コミュニケーションについて考えたことを書きななご」</p>	10分

7 評価の観点 【1】 受講生の大半が「リベラルアーツ国語」の目標を知ったか。

【2】 受講生の大半が他者の気配を感じ取る体験ができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案②

指導者

1日時 年 月 日(曜日)第 時限

2学級 学校 第 学年 組 計 名

3教室 年 組 教室

4本時の目標 【1】「背中合わせで立ち上がる」を通して他者の気配を感じ取る体験をする。

【2】共働することの歓びを経験する。

5本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。(5分) ②両手ジャンケン。(5分) (1)やりかたを知る。 (2)やってみる。5回合図される。間違えた者はその場に立つ。 (3)1分間、各自練習をする。 (4)やってみる。5回合図する。間違えた者はその場に立つ。 ③全員で机を前にずらす。(5分) ④並べ替え。(5分)	② (1)「両手でジャンケンする。必ず左手が勝つこと」 (2)立った人数を意識させる。 (3)おしゃべりせずに黙って一人で練習するよう指示する。 (4)立つときは黙って立つよう指示する。合図は(2)よりもやや間をとって出す。立った人数を意識させる。	10分
展開	⑤前時の復習として、「箸をはさんで立つ」をやる。(5分) ⑥本時の活動内容について知る。 ⑦背中合わせで立ち上がる。(55分) (1)やりかたを知る。(5分) (2)ペアになって練習する。(5分) (3)プリントの問1に答える。(2分) 問1の答えをもとに、ペアと話し合う。(3分) (4)練習する。(20分) (5)並び替え。ペアを替えて実施する。(20分)	③やらない生徒を観察する。 ④基準を決めて(例…誕生日順)、並び終わるまでの秒数を測りながら全出席者を並べ替える。あまり動きがよくない場合は、基準を変えて2回程度繰り返し返す。 ⑤出来たペアはハイタッチさせる。本時の目標【2】につながるよう、うんと喜ばせる。 ⑥「今日は、箸よりももう少し難しいことをやるよ」 ⑦「ア、背中合わせで座る。イ、膝は90度キープ。目は閉じる。手を床についてはいけない。組んでもいけない。ウ、おしゃべり、合図はしない。アウを満たして立ち上がれ」 (2)並び替えの順で、同性のペアを作る。無言でやらせることに留意する。両手ジャンケンで集中したらできたことに言及する。怪我をしないように注意して巡回する。 (3)口頭で問いを言って二人で考え、書き込ませる。問1「どつしたら立てますか」 書いている間は相談させない。話し合いの時間はやらせない。話せないペアを観察する。 (4)相談しながら練習させる。 「立てればなんでもいいわけじゃない。本当に二人で立てたときには一人で立ったのと同じように、すつと立てるよ。そのすつという感じを目標してやってみよう」 「すつと立てたペアはハイタッチしよう」 「立てたペアは応援に行こう」 (5)ペアの組み方は、男女混合になるのが望ましいが、クラスの様子を見て男女別で実施するのもやむを得ない。出来たペアは応援に行かせる。生徒の行動を観察する。	70分
まとめ	⑧全員で机を戻す。 ⑨プリントの問2、問3に答え、自己評価に○をつける。 ⑩プリントを提出して、解散。	⑨口頭で問いを示し、書き取らせる。 問2「背中合わせで立てた時、どんな感じがしましたか、どんな気分になりましたか」 問3「今日の授業を通して考えたこと、感じたことを書いてください」 十分時間を取って、経験を言葉にさせる。おしゃべり、相談はさせない。	10分

6評価の観点

【1】受講生の大半が、他者の気配を感じ取る体験ができたか。

【2】受講生の大半が、協働することの歓びを経験できたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案③

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「安らぐ」レッスンを通して、みずからのからだのこばりに気づく(「身構え」に気づく)。

【2】「触れる」レッスンを通して、個別化され閉じられた「からだ」から出発して他者へ至ろうとする過程を体験してみる。

【3】「息合わせ」のレッスンを通して、「息を合わせる」という言葉をからだレベルで実感する。

5準備する物

BGM、ぞうきん(参加人数分)、バケツ3つ。生徒は体操服で参加する。

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②机・椅子を廊下に出す。 ③床面を掃き、雑巾がけをする。	②③作業を皆でやるよう促す。【観察】	20分
休憩(10分)			
展開①	④「安らぐ」レッスン。 (1)やりかたを知る。(5分) (2)やってみる。(5分) (3)振り返りシートを記入する。(5分)	④ (1)スリッパを脱いで参加。床面に横たわる。手は胴の横。胸やお腹の上で組んではいけない。足もクロスさせてはいけない。目は閉じる。喋らない。 (2)BGMを流してスタート。必要があれば、(1)の注意点を全体に投げかける。特定の個人を注意することはしない。【観察】 (3)からだを横にして、ゆつくりと起き上がり、無音のうち問いに答えさせる。 問1「やっている最中、どんな気分でしたか」	15分
展開②	⑤「触れる」レッスン。 (1)並び替え。 (2)相手の肩に手を触れる。交代して触れてみる。 (3)振り返りシートを記入する (4)様々な「触れ方」i、iiを体験する。交代して触れてみる。 (5)振り返りシートを記入する。 (6)様々な「触れ方」iiiを体験する。交代して触れてみる。 (7)振り返りシートを記入する。	⑤ (1)男女別名簿順に並び替えさせる。 (2)一方の人が相手の肩に手を触れてみてください。交代してやってみてください。 (3)問2「肩に触れたとき、どんな感じがしましたか」 (4)i、iiを互いに体験させる。 i 「離れて立ち、一方ができるだけ遠くから手をのばし、肘も指もピンと伸ばして指先だけで相手に触る」 ii 「肘をゆるめて近づいてゆく。だが、やはり指先だけでさわってみる」 (5)問3「i、iiの触り方は、触れた時、触れられた時、それぞれどんな感じがしましたか」 (6)二人とも座って。すぐ後ろに座って相手の肩か背中にびったりと手のひらを当てる。相手の体のあたたかさを感じ取るつもりで。 (7)問4「iiiの触り方は、触れた時、触れられた時、それぞれどんな感じがしましたか」	45分
まとめ	⑦振り返りシートを記入する。	⑦問5「息合わせ、どんな感じがしましたか」 問6「今日の授業を通して考えたこと、感じたことを書いてください」	10分

7評価の観点

【1】受講生の大半が、個別化され閉じられた「からだ」から出発して他者へ至ろうとする過程を体験できたか。

【2】受講生の大半が、「息を合わせる」という言葉をからだレベルで実感し、他者との触れ合いにより感じを得られたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案④

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

- 【1】「おたすけオニ」を通して、助ける／助けられる経験をする。
- 【2】「ティッシュ吹き(二人で)」を通して、強く息を吐く経験をする。
- 【3】「ティッシュ吹き(二人一組)」を通して、協力する経験をする。

5準備する物

ボックスティッシュ1箱

6本時の指導計画

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	<p>①出欠をとる。</p> <p>②机、椅子を廊下に出す。</p> <p>③おたすけオニ。</p> <p>(1)ルールを知る。</p> <p>(2)おたすけオニをやる。</p>	<p>①やらない子をチェック。【観察】</p> <p>③</p> <p>(1)「鬼ごっこをします」 「相手の両肩に手を置いた二人組はバリアを張ったことになります。オニはタッチできません。ただしバリアが有効なのは5秒間です」 「オニは『オニです』と言いつつ追いかけてください。バリア有効時間の5カウントもオニがしてください」 (2)最初は教授者がオニをやる。 「オニです、と言いつつながらね」 「5カウントもオニがするんだよ。なるべく大きな声でしてよ」 ——とルールの再確認を適宜入れる。</p>	40分
休憩(10分)			
展開①	<p>④ティッシュ吹き(一人で)。</p> <p>(1)やりかたを知る。</p> <p>(2)ティッシュ吹き(一人で)を実施する。</p> <p>(3)振り返りシートを記入する。</p> <p>(4)ティッシュ吹き(一人で)を再開する。</p>	<p>④</p> <p>(1)「教室の向こうの壁までティッシュを落とさずに吹いてみてください」 「途中で地面に落ちたら最初からやり直します」 (2)ティッシュを配る。一人1枚。2枚重ねなら1枚ずつにするよう指示。 (3)疲れが見えたら記入させる。 問1「おたすけオニ、どうやったら盛り上がりですか」 問2「おたすけオニ、あなたはどんな行動をしてみましたか」 問3「ティッシュ吹き、どうやったら上手くなりますか」 (4)ゴール地点にクラスの半分が到達するまで実施する。ゴールした人はプレイゾーンに入らないで休憩。</p>	20分
展開②	<p>⑤ティッシュ吹き(二人一組)。</p> <p>(1)戦力が均等なペアになる。</p> <p>(2)やりかたを知る。</p> <p>(3)ティッシュ吹き(二人一組)を実施する。</p> <p>(4)振り返りシートを記入する。</p> <p>(5)ティッシュ吹き(二人一組)を再開する。</p>	<p>⑤</p> <p>(1)吹くのが得意な人と苦手な人のペアを作る。 (例)「ゴールした人としていない人をそれぞれ一列にならべ、生年月日順に並べ替えを実施。目の前になつた人とペアを組ませる。」 (2)二人で協力してゴール地点までティッシュを落とさずに吹いてみてください」 「途中で地面に落ちたら最初からやり直します」 「一人が連続して吹けるのは2回までとします」 (3)相談しながらやるよう声をかける。 (4)問4「ペアになつた人の名前を記してください」 問5「ティッシュ吹き(二人一組)、どうしたら向こうまで行けるでしょう。ペアと相談して答えなさい」 (5)あきらめずに頑張るよう励ます。ゴールしたペアは他のグループを応援するよう指示する。</p>	20分
まとめ	<p>⑥振り返りシートを記入する。</p>	<p>⑥問6「今日は、おたすけオニとティッシュ吹きの二人ヴァージョン、二人ヴァージョンをやりました。今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書いてください。自己評価も記入してください」</p>	10分

7評価の観点

- 【1】受講生の大半が「おたすけオニ」を楽しんでプレイできたか。
- 【2】受講生の大半が「ティッシュ吹き(二人一組)」を通して、協力する経験をできたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑤

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「サークル・スイッチ」を通して、視線のやり取り、冒険する感覚を体験する。

【2】「ボール回し(名前を呼んで)」を通して他者を見ること・他者の都合を斟酌することを体験する。

5準備する物

グループ数のバレーボール、グループ数×2のテニスボール

6本時の指導計画(キリのいいところで10分休憩を入れる)

学習段階

学習の内容及び学習活動

指導上の留意点

時間

- ① 出欠をとる。
- ② 机・イスを出す。
- ③ 並び替え。

- ④ サークル・スイッチ。
(1) やりかたを知る。

- ③ 基準を決めて(例..誕生日順)、並び終わるまでの秒数を測りながら全出席者を並び替える。あまり動きがよい場合、基準を変えて2回程度繰り返し返す。2グループに分ける。

- ④ (1)「ジャンケンで負けた人が最初のオニ(一人)」

「他の人はキレイな円を作り、オニは円の中央に立つ」
「円形に立っている人同士で目と目が合ったら、『ボジションチェンジする?』と目で会話します。もちろん、無言です」
「交渉が成立したら、お互いの立ち位置を、走ってすばやくスイッチ(交換)します」
「オニは、スイッチする二人の気配を察して、素早く動いて、どちらかの立ち位置に滑り込みます」
「スイッチした立ち位置に入れなかった人が次のオニになります」
「交換には拒否権があります」
「スイッチするのは、1回にひと組です」

- (2) ルールの徹底を図る。行動を指示をしない。
- (3) 口頭で問いを示し、書き取らせる。

問1「サークル・スイッチを通して、自分を振り返って記しなさい」

- ⑤ 「今日の授業は、他者を見ることをやります」

(1) 1 ガムテープとマジックを配り、今日この場で呼ばれた名前を大きく書かせ、胸に各自貼り付けさせる。
(1) 2 「サークル・スイッチ」のグループ員同士で名前を確認させる。
(2) 「隣の人にバレーボールを回します。はい、と声を掛けながら。テニスボールは、自分の両隣り以外の人に名前を呼んで渡す。計3つのボールを同時にパスする。これを1つのボールも落とさずに1分続ける」と確認する。

(3) バレーボールはリズムカルに回すこと、テニスボールは3秒以上持つていないことを確認する。
(4) 口頭で問いを示し、書き取らせる。

問2「1分続けるためには何が必要でしょう」
相談せずに自分で考えさせる。

(5) 振り返りシートをグループ内で回す。
問3「他の人の意見をメモせよ」

(6) あきらめずに頑張るよう励ます。
(7) 口頭で問いを示し、書き取らせる。

問4「あなたの投げたテニスボールはちゃんと相手に取ってもらえたか。またそれはなぜでしょう」
(8) 始める前に「相手を見る、聞こえる声で呼びかけるだけではたぶん足りない、ちゃんと取ってもらえるにはもう一つ大切なことがある、それは何かを考えると書いてみよう」と指摘する。

⑦ 口頭で問いを示し、書き取らせる。
問5「ボール回し(名前を呼んで)」を通して考えたことを書いてください」

7評価の観点

【1】 受講生の大半が「サークル・スイッチ」を通して、視線のやり取りを体験できたか。

【2】 受講生の大半が「ボール回し」を通して、他者を見ること・他者の都合を斟酌することを体験できたか。

・御高評

まとめ	<p>⑦ 振り返りシートを記入する。</p> <p>(8) ボール回し(名前を呼んで)を実施する。(6分)</p> <p>(7) 振り返りシートを記入する。(3分)</p> <p>(6) ボール回し(名前を呼んで)を実施する。(5分)</p> <p>(5) グループ内の、他の人の考えを知る。(5分)</p> <p>(4) 振り返りシートを記入する。(3分)</p> <p>(3) ボール回し(名前を呼んで)を実施する。(5分)</p> <p>(2) やりかたを知る。(3分)</p> <p>⑤ 本時の活動内容について知る。 ⑥ 「ボール回し(名前を呼んで)」 (1) 準備。(10分)</p>	<p>⑤ 「今日の授業は、他者を見ることをやります」</p> <p>(1) 1 ガムテープとマジックを配り、今日この場で呼ばれた名前を大きく書かせ、胸に各自貼り付けさせる。 (1) 2 「サークル・スイッチ」のグループ員同士で名前を確認させる。 (2) 「隣の人にバレーボールを回します。はい、と声を掛けながら。テニスボールは、自分の両隣り以外の人に名前を呼んで渡す。計3つのボールを同時にパスする。これを1つのボールも落とさずに1分続ける」と確認する。 (3) バレーボールはリズムカルに回すこと、テニスボールは3秒以上持つていないことを確認する。 (4) 口頭で問いを示し、書き取らせる。 問2「1分続けるためには何が必要でしょう」 相談せずに自分で考えさせる。 (5) 振り返りシートをグループ内で回す。 問3「他の人の意見をメモせよ」 (6) あきらめずに頑張るよう励ます。 (7) 口頭で問いを示し、書き取らせる。 問4「あなたの投げたテニスボールはちゃんと相手に取ってもらえたか。またそれはなぜでしょう」 (8) 始める前に「相手を見る、聞こえる声で呼びかけるだけではたぶん足りない、ちゃんと取ってもらえるにはもう一つ大切なことがある、それは何かを考えると書いてみよう」と指摘する。</p> <p>⑦ 口頭で問いを示し、書き取らせる。 問5「ボール回し(名前を呼んで)」を通して考えたことを書いてください」</p>	10分
展開	<p>(2) やりかたを知る。(3分)</p> <p>(3) 振り返りシートを記入する。</p>		40分
導入	<p>(2) やつてみる。</p> <p>(3) 振り返りシートを記入する。</p>		40分

リベラルアーツ国語 学習指導案⑥

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「新聞パンチ」を通して、いま・ここに集中する経験、力を出す経験をさせる。
 【2】「新聞パンチ」を二人組で行うことを通して、相談する経験、力を合わせる経験をさせる。

5準備する物

大量の古新聞

6本時の指導計画

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導 入	① 出欠をとる。 ② 机、椅子を廊下に出す。 ③ 本時の活動内容について知る。 ④ 「新聞パンチ」(二人で)。 (1) 準備。(5分) (2) やりかたを知る。 (3) 各自練習する。	② やらない生徒をチェック。【観察】 ③ 「今日の授業は、いま・ここに集中すること、力を出すことをやります」 ④ (1) 新聞を1ページずつに各生徒に持たせる。 (2) 「片手で新聞を持ち、パンチして腕を貫通させてください」 (3) 巡回しながら声かけをする。 「ズルしないように。パンチする時はちゃんとグーでやること」 諦めないよう励ます。諦めて遊び始めた生徒がいたら、「休憩時間を取るから、それまでは頑張ってください」と指示する。【観察】	15分
展開①	(3) 各自練習する。	休憩(10分)	30分
展開②	⑤ 「新聞パンチ」(二人で)。 (1) 二人のペアを相談して作る。 (2) やり方を知る。 (3) 各ペアで練習する。 (4) 教員の前に来て、ペアでテストを受ける	⑤ (1) 「いつしよにやろう、教えたり、教えられたりしてもいいなと思える人とペアをつくりなさい。ただし、寂しい思いをする子が一人も表れないようにそこはみんなで気を配りながらペアを作りなさい」。【観察】 (2) 「今から二人同時に新聞を破れるように練習してください。教えたり教えられたりしながら。授業の終わりにテストをします」 「コツを教えます。新聞を破ろうとしてはいけません。新聞の向こうにある何かを殴ろうとする。たまたま新聞はその対象とあなたの間にあるだけ、と想像してみてください。これがコツです」 (3) 巡視。遊ばないように、諦めないように、相談してやるように声を掛けながら。様子を見て、テスト開始の時間も告げること。【観察】 (4) テストを受けるペアで、「せえの」と声かけして、同時に破れるかどうかテストする。二人の教員が分担してテストを実施する。【記録】	25分
まとめ	⑥ 振り返りシートを記入する。	⑥ 口頭で問いを示し、書き取らせる。 問い「新聞パンチを通して、考えたこと・感じたことを書いてください」	10分

7評価の観点

【1】「新聞パンチ」を通して、いま・ここに集中する経験、力を出す経験ができたか。

【2】「新聞パンチ」を二人組で行うことを通して、相談する経験、力を合わせる経験ができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑦

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時 限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「目かくしウォーキング」を通して五感を蘇らせる体験をする(目かくしする者)。
【2】「目かくしウォーキング」を通して責任を持って人に接する体験をする(誘導する者)。

5準備する物

参加者数の1/2にあたる数のアイマスク

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導 入	① 出欠をとる。 ② 二人一組になる。 ③ 本時の活動内容について知る。 ④ 「目かくしウォーキング」。 (1) 準備。(3分) (2) やりかたを知る。(10分)	② クラスに任せる。ペアを作れない子がいないように気を遣えと言おう。 ③ 「今日の授業は、五感を蘇らせることをやります」 ④ (1) 目かくしを配布する。どちらが目かくしするか決めさせる。 (2) 板書し、ルールを徹底させる。 ① 最初の15分間……目かくししたAは好きなように歩き、Bはガード役。 * 不要にしゃべらない。 * 危険な時…「ストップ」と声をかけ、進める方向だけを伝える。 ② 次の15分間……Bが指示して、Aをいろいろな場所に連れて行く。 * 不要にしゃべらない。 * 一度だけ全力疾走させる。 ③ 目かくしを取り、今まで歩いてきた道を、出発点まで逆に戻る。	6分
展 開	(3) 目かくしウォーキングを実施する(1回目)。(35分) (4) 振り返りシートを記入する。(5分) (5) 目かくしウォーキングを実施する(2回目)。(35分) (6) 振り返りシートを記入する。(5分)	⑤ 問いを言って書き取らせる。 問6「感覚、責任、信頼のいずれか一つをテーマとして、今日の授業の体験を基に、あなたの感じたこと、考えたことを書いてください」 「自己評価にも○をつけてください」 (3) 誘導する者は時計を持って出発させる。階段、大きな段差は教える。手すりも教えるよう付け加えて指示する。指導者は様子を巡回しつつ、ふざけている生徒を注意する。 (4) 全ペアが戻ってきたことを確認してから実施。 問1「ペアを組んだ人の名前をラールームで書きなさい」 問2「あなたは誘導する側、される側どちらでしたか」 問3「考えたこと、感じたことを書きなさい」 (5) 同じペアで、役割を替えて実施。板書をもう一度確認させ、やり方を徹底する。指導者は様子を巡回しつつ、ふざけている生徒を注意する。 (6) 全ペアが戻ってきたことを確認してから実施。 問4「あなたは誘導する側、される側どちらでしたか」 問5「考えたこと、感じたことを書きなさい」	90分
ま と め	⑤ 振り返りシートを記入する。	⑤ 問いを言って書き取らせる。 問6「感覚、責任、信頼のいずれか一つをテーマとして、今日の授業の体験を基に、あなたの感じたこと、考えたことを書いてください」 「自己評価にも○をつけてください」	4分

7評価の観点

【1】 受講生の大半が五感を蘇らせる体験ができたか。
【2】 受講生の大半が責任を持って人に接する体験ができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑧

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時 限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

- 【1】「間違い探し」を通して、相手をよく見る経験をする。
 【2】「形を作る」を通して、こだわりなく動く経験を積む。

5本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	④「間違い探し」。 (1)配置について、ルールを知る。 (2)「間違い探し」をやる。 (3)振り返りシートを記入する。	③今日の授業のねらいは、相手をよく見ること・こだわりなく動くことです」 ④ (1)別紙参照。 (2)二人の教授者で、手分けして計時と観察をする。 (3)問いを言って書き取らせる。 問1「『間違い探し』を通して、感じたこと・考えたことを書きなさい」	25分
休憩(10分)			
展開	⑤二人一組を作る。 ⑥「形を作る」(ステップ1)。 (1)やりかた、ルールを知る。 (2)「形を作る」(ステップ1)をやる。 ⑦「形を作る」(ステップ2)。 (1)四～六人のチームを作る。 (2)ステップ2をやる。 ⑧「形を作る」(ステップ3)。 (1)クラスを半分に分ける。 (2)ステップ3をやる。	⑤生徒に決めさせる。 ⑥ (1)別紙参照。 (2)教授者は10カウントしながら進める。スピードで巻き込むように進める。面白いペアを紹介する。何が起きているか(※)の説明を入れる。 (※)勇気を出して、どちらかがオファーすること 相手をよく見て、相手に合わせてためらわずに動くことができなければ、10秒で形を作ることはできない。 ⑦ (1)二人一組を教授者が指示してくっつける。 (2)別紙参照。教授者は20カウントする。相談、指示をしないよう、注意する。 ⑧ (1)教授者が指示して2つに分ける。 (2)別紙参照。教授者は30カウントする。相談、指示をしないよう注意する。1グループずつやらせ、ちゃんと見ているように指示。二題やったら、見ていたグループと交代してやらせる。	30分
まとめ	⑨振り返りシートを記入する。	⑨問いを言って書き取らせる。 問2「形を作る、あなたはどの動きましたか」 問3「今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書きなさい」 「自己評価も記入してください」	10分

6評価の観点

- 【1】受講生の大半が相手をよく見る経験ができたか。
 【2】受講生の大半がこだわりなく動く経験ができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑨

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「イエスアンドサークル」を通して、自分で判断して話すことへの抵抗感を低減させる。
 【2】「形を作る(相談バージョン)」を通して、話し合いをして答えのない問いに向かって皆で話す経験をさせる。

5本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
------	-------------	---------	----

導 入	①出欠をとる。 ②机、椅子を廊下に出す。 ③本時のねらいについて知る。 ④「イエスアンドサークル」。 (1)七人八人のグループを作り、円を作って座る。 (2)第1段階のやりかたを知り、実施する。 (3)第2段階のやりかたを知り、実施する。 (4)振り返りシートを記入する。	②やらない子をチェック。【観察】 ③「今日の授業は、この前の続きだよ。まずはウォーミングアップで発想の練習をしよう」 ④ (1)生徒に決めさせる。 (2)第1段階。指をさして相手を指定し、「あなたは『です』と答える。これを繰り返す。『』は、どんな荒唐無稽なことでも良い。 (3)第2段階。やりかたは第1段階と同じだが、指定された人は、「』」を繰り返した後に、ひとこと添えて答える。 (4)問いを言って書き取らせる。 問1「『イエスアンドサークル』を通して、感じたこと・考えたことを書きなさい」	20分
	休憩(10分)	⑤生徒に決めさせる。 ⑥ (1)「相談しないで、相手をよく見て動く。正解も不正解もない。二人で一つのモノを作りなさい」 (2)教授者は10カウントしながら進める。スピードで巻き込むように進める。面白いペアを紹介する。何が起きているか(※)の説明を入れる。 (※)勇気を出して、どちらかがオファーすること 相手をよく見て、相手に合わせてためらわずに動くことができなければ、10秒で形を作ることはできない。	20分

展 開	⑤二人一組を作る。 ⑥「形を作る」(お題…モノ、相談なしで)。 (1)やりかた、ルールを知る。 (2)「形を作る」(ステップ1)をやる。 ⑦「形を作る」(お題…場所、相談なしで)。 (1)四～六人のチームを作る。 (2)ステップ2をやる。 ⑧「形を作る」(お題…場所、相談入れて)。 (1)場所に関するお題について、相談をして形を作る。 ⑨「形を作る」(お題…状況、相談なしで)。 (1)状況に関するお題について、相談なしで形を作る。 ⑩「形を作る」(お題…状況、相談入れて)。 (1)状況に関するお題について、相談をして形を作る。	⑦ (1)二人一組を教授者が指示してくっつける。 (2)別紙参照。教授者は20カウントする。相談、指示をしないよう、注意する。 ⑧ (1)教授者は30カウントする。相談して作るよう指示する。上段⑦と同じお題でも良い。グループの成員が皆で相談できているか、それとも一人の生徒が仕切ってしまったているか、見極める。 ⑨ (1)教授者は20カウントする。相談、指示をしないよう、注意する。 ⑩ (1)教授者は30カウントする。相談して作るよう指示する。上段⑨と同じお題でも良い。グループの成員が皆で相談できているか、それとも一人の生徒が仕切ってしまったているか、見極める。	30分
まとめ	⑪振り返りシートを記入する。	⑪問いを言って書き取らせる。 問2「形を作る、考えたこと、感じたことを書きなさい」 問3「今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書きなさい」 「自己評価も記入してください」	10分

6評価の観点

【1】受講生の大半が相手をよく見る経験ができたか。
 【2】受講生の大半がこだわりなく動く経験ができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑩

指導者

1日 時 年 月 日 (曜日) 第 時 限

2学 級 学校 第 学年 組 計 名

3教 室 年 組 教室

4本時の目標 【1】「マイムしりとり」「風景ポーズ」を通して、人任せにしない、自分の判断で動く経験をする。
5本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②机、椅子を廊下に出す。 ③本時のねらいについて知る。	②やらない子をチェック。【観察】 ③今日の授業は、この前の続きだ。人任せにしない、自分の判断で動く練習をしよう！	15分
展開①	④「マイムしりとり」。 (1)ほぼ一〇人のグループを作り、円を作つて座る。 (2)「マイムしりとり」を実施する。 ⑤振り返りシートを記入する。	④(1)生徒に決めさせる。 (2)円を作っている人数×10秒で一周まわることを目指す。順番を入れ替えたり、上手いチームの模範演技を見せたりしながら、3まわりほど実施する。【観察】 ⑤問いを言って書き取らせる。 問1「マイムしりとり、うまく伝えるコツは何ですか」	30分
休憩(10分)			
展開②	⑥「風景ポーズ」。 (1)やりかた、ルールを知る。 (2)「風景ポーズ」を実施する。	⑥(1)以下の5点を始める前に指示する。 ア. 見る位置を決めるから、見る人から何の風景かわかるように、向きと位置関係を意識して作ること。 イ. 最初の三人は「規模と位置関係を明確にする」役割、次の三人は「よく見る風景を創る」役割、最後の三人は「ドラマを立ち上げる」役割。それぞれの役割を意識する。 ウ. いったん入ったら話さない、動かない(ストップモーション)。 エ. あらかじめ相談しない。入る順番だけジャンケンで決めておく。 オ. 20カウントするから、その間に入って、ポーズを決めて、ストップすること。 (2)グループ代表がジャンケンで順番を決める。教授者は、あらかじめ用意したお題を、プレイする直前にグループに示す。プレイしていないグループは、1か所に固まって座り、何の風景か当てるべく、他のグループのプレイを観る。 1つのグループが終わったら、観ている生徒を数人指名し、何の風景か答えさせる。	30分
まとめ	⑦机、椅子を教室に入れる。 ⑧振り返りシートを記入する。 ⑨本時のまとめを聴く。	⑦やらない子をチェック。【観察】 ⑧問いを言って書き取らせる。 問2「今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書きなさい」 ⑨教授者一人がそれぞれの感想を話す。	15分

6評価の観点 【1】「マイムしりとり」「風景ポーズ」を通して、受講生の大半が、人任せにしないで自分の判断で動く経験をすることができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑪

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】一学期の振り返りをする。

【2】「マイムしりとり」を通して、人任せにしない、自分の判断で動く経験をする。

【3】「想像の縄跳び」を通して、ないものを想像で見る、という経験を積ませる。

5本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	① 出欠をとる。 ② 本時のねらいを知る。	② 「一学期の振り返りと達成度を見ます。併せて、次の授業内容に必要な想像する」ということについて経験します」	10分
展開①	③ 「一学期の授業内容の振り返り」。 ④ 「マイムしりとり」。 (1) 一〇人以内のグループを作り、円を作って座る。	③ 振り返りシートを配付し、問1を記入させる。 問1「一学期の授業を通して考えたこと、感じたことと書きなさい」 主体的な態度の評価に入れることを先に伝える。 【観察】＋休憩(15分)	10分
展開②	(2) 「マイムしりとり」を実施する。	(1) 「マイムしりとりをします。他者に物事を伝えることと、人任せにしないこと、自分の判断で動くことを身につけるためのレッスンです。一学期の授業内容が実際にどれくらい身についているかを観察します。思考・判断・表現の評価に入れます」 ・くじ引きでグループを作る。(5分) (2) 練習時間を取る。(5分) 【観察】 ・グループごとに計時して行う。観察し、評価をつける。他のグループは見学する。(15分) 【評価の観点】 自分で考え、相手に伝えられた…A 相手に伝えられなかったが、あきらめなかった…B 伝えることをあきらめた・参加しなかった…C	25分
展開③	⑤ 「想像の縄跳び」。 (1) 本物の長縄を跳ぶ。 (2) 想像の長縄を跳ぶ。 (3) 振り返りシートを記入する。	(1) 一人ひとり跳んでは抜ける、を何周か行う。人が跳んでいるのを見るよう指示する。 (2) 見ていて、ひっかかったと思ったら「ひっかかった」と言うよう、初めに指示する。 (3) 問いを言って書き取らせる。 問2「どうしてみんなが同じタイミングで、ひっかかったと思ったのですか。それは、ないはずの長縄がみんなに見えているからです。なぜ、ないものがみんなに見えるのですか」	15分
まとめ	⑥ 机、椅子を教室に入れる。 ⑦ 振り返りシートを記入する。 ⑧ 本時のまとめを聴く。	⑥ やらない子をチェック。【観察】 ⑦ 問いを言って書き取らせる。 問3「今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書きなさい」 ⑧ 教授者一人がそれぞれの感想を話す。	15分

休憩(10分)

6評価の観点

【1】「マイムしりとり」を通して、受講生の大半が、他者に物事を伝えること、人任せにしないこと、自分の判断で動くことを身につけられていたか。

【2】「想像の縄跳び」を通して、ないものを想像で見る、という経験ができたか。

御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑫

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時 限

2学 級

年 組 学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「コントロールタワー」を通して、声を出す／聞くことの練習をはじめめる。

【2】「短いシーンを作る」ことを通して、話し合って何かを作るといいう作業がどれだけできるか、生徒の現況を把握する。

5本時の指導計画

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導 入	① 出欠をとる。 ② 本時のねらいを知る。 ③ 机・椅子を前に寄せる。 ④ 「コントロールタワー」。 (1) やり方を知る。	② 「2学期のテーマ・話し合いに入っていきます」 (1) <ul style="list-style-type: none"> ・並べ替えを行い、二人一組のペアを作る。 ・目かくしを配る。ジャンケンで誘導／目かくしを決めさせる。 ・やり方を説明する。本文259～267頁参照。 (2) クラスを二つに分けて実施。やってない半分は、教室内に散らばって障害物になる。役割の交代なし、逆の立場は次回実施。 (3) 問いを言って書き取らせる。 問1「あなたは誘導、目かくし、どちらをやりましたか」 問2「コントロールタワーで考えたこと、感じたことを書いてください」	10分
展開①	(2) 「コントロールタワー」を実施する。 (3) 振り返りシートを記入する。	休憩(10分)	30分
展開②	⑤ 「短いシーンを作る」(1)。 (1) 5人前後のグループになる。 (2) やることを知る。 (3) フークシートを埋める。発表に向けて練習をする。 (4) 短いシーンをグループごとに発表する。	⑤ (1) 自分たちで決めさせる。 (2) グループに1枚ずつワークシート(別紙参照)を配り、説明する。 (3) 指示しない。生徒個々の現状を観察する。 (4) グループごとに3分計時して行う。他のグループは見学する。	25分
まとめ	⑥ 机、椅子を元に戻す。 ⑦ 振り返りシートを記入する。 ⑧ 本時のまとめを聴く。 ⑨ 振り返りシート、グループワークシートを提出する。	⑦ 問いを言って書き取らせる。 問3「短いシーンの話し合いにあなたはどのように参加できましたか」 問4「今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書きなさい」 「自己評価も記入してください」 ⑧ 教授者一人がそれぞれの感想を話す。	10分

6評価の観点

【1】 受講生の大半が、「コントロールタワー」を通して、声を出す／聞くことの練習に参加できたか。

【2】 「短いシーンを作る」ことを通して、話し合って何かを作るといいう作業がどれだけできるか、生徒の現況を把握することができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑬

指導者

1日時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学級

学校 第 学年 組 計 名

3教室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「短いシーンを作る」(2回目)を通して、話し合うこと、普段の自分と別の役割になることの練習をする。
【2】「5人の計画」を通して、話し合いの中でいつもの自分とは違う役割を果たす経験をする。

5準備する物

グループワークシート、役割カード

6本時の指導計画

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	<p>① 出欠をとる。</p> <p>② 本時のねらいを知る。</p> <p>③ 机・椅子を前に寄せる。</p> <p>④ 「短いシーンを作る」(2)。</p> <p>(1)五人前後のグループになる。</p> <p>(2)やることを知る。</p> <p>(3)ワークシートを埋める。発表に向けて練習をする。(20分)</p> <p>(4)短いシーンをグループごとに発表する。(1グループ5分×6グループ＝30分)</p> <p>(5)振り返りシートを記入する。</p> <p>(6)グループワークシートを提出する。</p>	<p>② 話し合いをして、シーンを作ってもらいます。前回予想以上に面白かったので。前回の反省を踏まえ、もっと面白いものを作ってください」</p>	10分
展開①	<p>(1)担当者が対象クラスの状況を踏まえ、適切な基準で分ける。</p> <p>(2)グループに1枚ずつワークシート(別紙参照)を配り、説明する。</p> <p>(3)指示しない。生徒個々の現状を観察する。</p> <p>(4)グループごとに5分計時して行う。他のグループは見学する。</p> <p>(5)問いを言って書き取らせる。</p> <p>問1「短いシーンの話し合いにあなたはどのように参加できましたか」</p> <p>問2「発表について、考えたこと・感じたことを書いてください」</p>	<p>⑤ 「短いシーン」を作ったグループで行う。</p> <p>(2)話し合いのテーマは教授者が全グループ共通のものを示す。</p> <p>(3)別紙「5人の計画」について「を参照して、説明する。</p> <p>(4)(5)様子を観察する。</p>	55分
展開②	<p>⑤ 「5人の計画」。</p> <p>(1)5人前後のグループになる。</p> <p>(2)まずは、カードなしで話し合いをする。(2分)</p> <p>(3)いまからやることを知り、役割カードを受け取る。</p> <p>(4)カードを引き、その役割で話し合いを続ける。(7分)</p> <p>(5)カードを引き直して、引いたカードの役割で話し合いを続ける。(2分)</p> <p>⑥ 机、椅子を元に戻す。</p> <p>⑦ 振り返りシートを記入する。</p>	<p>⑦ 問いを言って書き取らせる。</p> <p>問3「5人の計画」でああなたはどんな役割を演じましたか」</p> <p>問4「5人の計画」で考えたこと・感じたことを書いてください」</p> <p>「自己評価も記入してください」</p> <p>⑧ 教授者一人がそれぞれの感想を話す。</p>	10分
まとめ	<p>⑧ 本時のまとめを聴く。</p> <p>⑨ 振り返りシートを提出する。役割カードを返却する。</p>	<p>⑧ 教授者一人がそれぞれの感想を話す。</p>	5分

休憩(10分)

7評価の観点

【1】「短いシーンを作る」(2回目)を通して、話し合うこと、普段の自分とは別の役割になることの練習ができたか。
【2】「5人の計画」を通して、話し合いの中でいつもの自分とは違う役割を果たすことができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑭

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時 限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「短いシーンを作る」(3回目)を通して、話し合うこと、普段の自分と別の役割になることの練習をする。

5準備する物

グループワークシート

6本時の指導計画

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導 入	① 出欠をとる。 ② 本時のねらいを知る。 ③ 机・椅子を前に寄せる。 ④ 「短いシーンを作る」(3)。 (1) 5人前後のグループになる。 (2) やることを知る。 (3) ワークシートを埋める。発表に向けて練習をする。 (25分)	② 「話し合いをして、シーンを作ってもらいます。前二回の反省を踏まえ、もっと面白いものを作ってください」	10分
展開①	④ 「短いシーンを作る」(3)。 (1) 5人前後のグループになる。 (2) やることを知る。 (3) ワークシートを埋める。発表に向けて練習をする。 (25分)	④ (1) 担当者が対象クラスの状況を踏まえ、適切な基準で分ける。 (2) グループに1枚ずつワークシートを配り、説明する。 (3) 指示しない。生徒個々の現状を観察する。	30分
休憩(10分)			
展開②	⑤ (1) 短いシーンをグループごとに発表する。(1グループ5分×6グループ＝30分) ⑥ 机、椅子を元に戻す。 ⑦ 振り返りシートを記入する。	⑤ (1) グループごとに5分計時して行う。他のグループは見学する。評価基準をあらかじめ示す。 ⑦ 問いを言って書き取らせる。 問1「短いシンの話し合いにあなたはどのように参加できましたか」 問2「今日の授業で考えたこと、感じたことを書きなさい」 「自己評価も記入してください」	30分
まとめ	⑧ 振り返りシート、グループワークシートを提出する。	「自己評価も記入してください」	10分

7評価の観点

【1】「短いシーンを作る」(3回目)を通して、話し合うこと、普段の自分とは別の役割になることの練習ができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑮

指導者

1日時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学級

年 組 学校 第 学年 組 計 名

3教室

年 組 教室

4本時の目標

【1】他者に対する反応の仕方の傾向(オファーの仕方、リアクションの仕方)を自覚し、気まずくない話し方のポイントを知る。

5準備する物

振り返しシート

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②本時の目標を知る。 ③机・椅子を前に寄せる。 ④振り返しシートを配る。 ⑤「別れる理由」。 (1)二人組を作る。(5分) (2)やることを知る。(5分)	②「話が弾むコツを知ろう」	5分
展開①	(3)設定を決める話し合いをして振り返しシート1に書き取らせる。(10分)	⑤ (1)担当者が対象クラスの状況を踏まえ、適切な基準で分ける。 (2)「別れを告げるシーンをやってもらいます。一方が別れたい、もう片方は別れたくないカップルです。まずはどちらが別れたいか決めてください。別れた理由を決めてください。2分間続けてもらいます。自分の要求を意地でも通そうとしてください」 問1「ア. どんなカップルですか イ. どれくらいの期間付き合っていますか ウ. なぜ別れたのか」 指示しないで、話し合いの様子を観察する。長い時間を取り過ぎない。	20分
展開②	(4)発表する。(2分×10組≒20分)	(4)「2分以上続けてもらいます。終わったら拍手しましょう」	20分
展開②(つづき)	(4)発表する。(2分×10組≒20分)	(4)「2分以上続けてもらいます。終わったら拍手しましょう」 ⑥「切迫した場面なのに、話が進まないペアには次の共通点があるように思うよ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ウインピング(あいまいな答え方)。 ・質問に質問で返す。 ・ネガティブ(後ろ向き、消極的)なリアクション。 ・リアクションなし。 板書して【板書メモ】に書き取らせる。 「なら、その逆をやれば、話が進むってことじゃない？」 ◎言われたことをいったんは受け止め、きつぱりと乗っかって話す。	20分
展開③		板書して【板書メモ】に書き取らせる。	10分
まとめ	⑦机、椅子を元に戻す。 ⑧振り返しシートを記入する。 ⑨振り返しシートを提出する。	⑧問いを言って書き取らせる。 問2「(1)あなたのリアクションの仕方の特徴は？ (2)今日の授業で考えたこと、感じたことを書きなごう」 「自己評価も記入してください」	5分

休憩(10分)

7評価の観点

【1】他者に対する反応の仕方の傾向(オファーの仕方、リアクションの仕方)を自覚し、気まずくない話し方のポイントを知ることができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑬

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】「偏愛マップ」合コン、イエスアンドサークルを通して、自分のレスポンスのクセに自覚的になり、やりとりが成立する応答の仕方をもつける。

5準備する物

A4判の白紙の用紙、振り返しシート

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②本時の目標を知る。 ③A4版の白紙の用紙、振り返しシートを配る。 ④「偏愛マップ」作成。 (1)書き方を知る。(5分)	②「今日はおしゃべりの練習だよ」	5分
展開①	(2)自分の「偏愛マップ」を作る。(15分)	④ (1)偏愛マップ＝自分の好きなものを好きなようにA4の紙1枚にマッピングする。なるべく詳しく、なるべく具体的に、なるべく多岐にわたって。人に知られたくないものは書かない。 (2)机間巡視する。書いてない生徒には具体的な質問をして書くように促す。スピード感をもつて書かせる。「君の中にいる番人を眠らせろ」	20分
展開②	⑤「偏愛マップ」合コン(1回目) (1)座席を作り、やり方を知る。(5分) (2)「偏愛マップ」合コン実施。(1分×10回＝10分) (3)振り返しシート1・2を記入する。(5分)	⑤ (1)「机を向かい合わせて。向かい合った人と、「マップ」を交換して、1分間楽しく過ごす。本当に楽しくなくてもいい。楽しいフリをする。それが相手へのプレゼントだ」 (2)1分計時して、席を1つずつずらして実施する。 (3)問いを言って書き取らせる。 問1「あなたのレスポンスのクセはどんなですか？」 問2「あなたが話しやすかった人のレスポンスはどんなでしたか」	20分
休憩(10分)			
展開③	⑥イエスアンドサークル。 (1)ねらいを知る。(5分) (2)五～六人のグループを作って円になって座る。(5分) (3)第1段階の練習をする。(5分) (4)第2段階の練習をする。(10分)	⑥ (1)「楽しく話すには、どう話すかよりも、どう返すか・反応するか(＝レスポンス)が大事だ。その練習をして、レスポンス名人になろう。きつと気まずくなく話せるようになるから」 (2)グループの作り方はクラスの雰囲気によって変える。 (3)指をさして「あなたはAですね」 (指された人が)「はい。わたしはAです」 (これを円の中で繰り返す。 (4)指をさして)「あなたはAですね」 (指された人が)「はい。わたしはAです。」 (これを円の中で繰り返す。「～」＝ひと言オマケをつける。	25分
展開④	⑦「偏愛マップ」合コン(2回目)。 (1)座席に戻り、「偏愛マップ」合コンの2回目を実施する。今度は、レスポンスの仕方を注意してやる。(1分×15回＝15分)	⑦ (1)「イエスアンドサークルで練習したようにレスポンスしてみよう。具体的には、相手の話に「そうそう!」と乗っかって、その話題を続けるようにひと言添えて返してみよう。返された相手は、今度はひと言付け加えた部分に「そうそう」と乗っかって、ひと言付け加えて返そう。そんなことを意識して、「つ」の話題が続いて二分間が過ぎることを目標に話してみよう」	15分
まとめ	⑧机、椅子を元に戻す。 ⑨振り返しシート3・4、自己評価を記入する。 ⑩振り返しシートを提出する。	⑨問いを言って書き取らせる。 問3「イエスアンドレスポンスしたら、やりとりはどう変わりましたか」 問4「今日の授業で感じたこと・考えたことを書きなさい」 「自己評価も記入してください」	10分

7評価の観点 【1】やりとりが成立するレスポンスの仕方を身につけることができたか。
 ・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑬

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】前時2時間で学んだ、やりとりを妨げない応答の仕方の定着を図る。

5準備する物

授業プリント(別紙)

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導 入	① 出欠をとる。 ② 本時のねらいを知る。 ③ 机・椅子を前に寄せ、二人一組を作る。 ④ 本時の活動内容を知る。	② 「イエスアンドで話せるかどうかテストをします」 ③ 生徒同士で決めさせる。 ④ 授業プリントを配って説明する。	10分
展開①	⑤ 「しながら雑談」… 行動 (1) 二人一組で練習する。(10分) (2) テストを受ける。(20分)	⑤ (1) 30秒続けられるよう例題1を練習させる。 (2) 例題1から一題選び、教員の前で実施。ペアはその場で教員が選ぶ。教室内で生徒の前でテストするか、廊下で教員の前でするかはクラスに合わせて決める。	30分
休憩(10分)			
展開②	⑥ 「うな一人」… 関係 (1) 二人一組で練習する。(10分) (2) テストを受ける。(20分)	⑥ (1) 30秒続けられるよう例題2を練習させる。 (2) 例題2から一題選び、教員の前で実施。ペアはその場で教員が選ぶ。教室内で生徒の前でテストするか、廊下で教員の前でするかはクラスに合わせて決める。	30分
まとめ	⑦ 机、椅子を元に戻す。 ⑧ 授業プリントを記入する。	⑧ 「時間を取るので空欄の内容に埋めなさい」 「自己評価も記入してください」	10分

7評価の観点

【1】やりとりを妨げない応答の仕方が大半の生徒に定着したか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑱

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】前時までの2つの流れ(話し合うこと、状況に入って演じること)を統合する課題(ティピカル・ストーリー)に取り組むことを通して、次時より取り組む第2期のまとめの課題への足慣らしをさせる。

5準備する物

授業プリント(別紙)

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②本時の目標を知る。 ③机を前方に寄せ、振り返りシートを配る。 ④おとぎ話の典型的な流れ(ティピカル・ストーリー)を理解する。	②「今日はおとぎ話の典型的な流れについて勉強しよう」	5分
展開①	①おとぎ話の典型的な流れを知る。(5分) ②四〜六人のグループになって、グループでおとぎ話を作る。(25分)	④ (1)シート太枠内を説明する。 (2)円にさせて、シート問1〜3をやらせる。グループ全員に話し始めを体験させる。	30分
展開②	⑤おとぎ話を演じる。 (1)グループの「話」を選び、配役を決める。(10分) (2)グループの「話」を発表できるように練習する。(15分) (3)グループの「話」を発表する。(25分)	⑤ (1)シート問4(1)(2)をやらせる。 (2)巡視し、声かけし、練習を促す。4〜5分は演じること。ナレーター以外は全員が演者として出演し、必ず台詞を話すこと。この2点を基準として、思考判断表現の評価に入れることをあらかじめ伝えておく。 (3)他のグループの発表をきちんと見て、演じ終わった拍手をすることを指摘する。	50分
まとめ	⑥机、椅子を元に戻す。 ⑦振り返りシート問5、自己評価を記入する。 ⑧振り返りシートを提出する。	⑦発表できなかったグループは次時に発表してもらおうと予告し、あらかじめ発表順を生徒に決めさせる。	5分

休憩(10分)

7評価の観点

【1】話し合うこと、状況に入って演じること生徒は慣れたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案⑬

指導者

1日 時

年 月 日 (曜日) 第 時 限

2学 級

学校 第 学年 組 計 名

3教 室

年 組 教室

4本時の目標

【1】話し合うこと、こだわりなく動くこと、自分で判断することの3点がどれくらい定着しているか図る。

5準備する物

振り返りシート

6本時の指導計画

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②本時のねらいを知る。 ③机・椅子を前に寄せ、3〜4グループに分ける。	②「2期のまとめの課題を与えます。力を合わせて頑張らしましょう」 ③戦力が均等になるように、楽しくしっかり課題に取り組めるように、生徒に決めさせる。グループのリーダーを決めさせる。 ④振り返りシートを配って説明する。	20分
展開①	④本時の活動内容を知る。 ⑤グループで話し合いをして、振り返りシートを埋める。	⑤話し合いの様子を観察する。適宜、リーダーを呼んで進み具合をチェックする。	30分
休憩(10分)			
展開②	⑥5分以上のシーンが演じられるよう、練習する。 ⑦机、椅子を元に戻す。	⑥練習の様子を観察する。適宜、リーダーを呼んで進み具合をチェックする。	30分
まとめ	⑧授業プリント問8を記入する。	⑧「時間を取るので空欄の内容を埋めなさい」「自己評価も記入してください」	10分

7評価の観点

【1】話し合うこと、こだわりなく動くこと、自分で判断することの3点において、多くの生徒に成長が見られたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案②⑩

指導者

1日時 年 月 日(曜日)第 時限

2学級 学校 第 学年 組 計 名

3教室 年 組 教室

4本時の目標 【1】「グループで話すこと」「こだわりなく動くこと」「自分で判断すること」という2期の目標がどれくらい達成できているかを、短いシーンの上演を通して各生徒が自覚し、省みる。

5準備する物 振り返しシート

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②本時の目標を知る。 ③机を前方に寄せる。 ④上演に向けての練習をする。	②「今日はグループ発表の日です。1時間練習する時間を取ります。2時間目は発表です。10代の娘とお母さんから年齢順に発表していきます」 ④巡視し、進み具合を確認する。	5分
展開①	④上演に向けての練習をする。	④巡視し、進み具合を確認する。	40分
休憩(10分)			
展開②	⑤「〇代の娘とお母さん」上演。 ⑥机、椅子を元に戻す。 ⑦振り返しシートを記入する。	⑤上演に先立って、次の4点を伝える。 ・10代から順に上演する。 ・5分以上、上演する。 ・全員が台詞を言う。 ・これは続き物である。	35分
まとめ	⑧振り返しシートを提出する。	⑦ 問1「『〇代の娘とお母さん』を演じた感想を書け」 問2「他のグループの発表を観て、考えたこと、感じたことを書け」 問3「2学期のねらいに対して、自分がどれだけ変化したか、自己分析せよ」	10分

7評価の観点

【1】受講者の大半が上演に参加できたか。

他のグループの発表をきちんと見ることができたか。

2期の目標の達成度合いについて、誠実に自省することができたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案②1

指導者

1日時 年 月 日(曜日)第 時限

2学級 学校 第 学年 組 計 名

3教室 年 組 教室

4本時の目標 【1】「ズキユンときた本／ことばを紹介する」ワークを通して、本／ことばを生きる支えとする態度を養う。

【2】個人的な思いをことばにする練習をする。

5準備する物 400字詰め原稿用紙3枚

6本時の指導計画

学習段階	学習の内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	① 出欠をとる。 ② 本時の目標を知る。 ③ 400字詰め原稿用紙3枚を配る。 ④ 課題の内容を知る。(10分)	② 「今日から2時間を使って、本／ことばと出会っための授業をやります」 ④ 以下を説明する。必要なら原稿用紙の裏にメモするように指示する。 ア. 自分のズキユンときた本／ことばを紹介してもらう。 イ. クラスメートの前で発表する。そのために原稿を書く。 ウ. 発表時間は3分以内。 エ. 原稿は話し言葉で書く。 オ. 本のタイトル、具体的なことばのいずれかを入れる。 カ. その本／ことばが、あなたの人生や生き方にとって、 う関わるかを具体的に書く。 ⑤ 2種のサンプルを読み上げ、説明を加える。 (1)高橋源一郎「場所の記憶」(『高橋源一郎の飛ぶ教室』より)↑本のタイトル+考えたこと、というパターンの例として。 (2)教授者の文章↑ことば+経験、というパターンの例として(本文321～323頁参照)。	5分
展開①	⑤ 課題の具体例を聴き、イメージをつかむ。(30分)	休憩(10分)	40分
展開②	⑥ 本／ことばを探す。 ⑦ 次時にやることと宿題を知る。	⑥ 図書館へ連れて行き、本を探させる。借りたい生徒には貸し出し手続きをする。何を書くか決めた生徒から、原稿用紙に書き始めさせる。 ⑦ 「次の時間は、1時間で原稿を書いてもらいます。もう1時間は、自意識に負けずに人前で話せるようになるワークシヨップをやります」 「次回1時間で書き切れるように何を書くか考えてくる。これが宿題です」	40分
まとめ			5分

7評価の観点

【1】「ズキユンときた本／ことばを紹介する」ワークの内容を理解できたか。

・御高評

リベラルアーツ国語 学習指導案②

指導者

- 1日時
 2学級
 3教室
 4本時の目標
 5準備する物
 6本時の指導計画
- 年 月 日 (曜日) 第 時限
 学校 第 学年 組 計 名
 年 組 教室
 【一】「誰の話？」を通して、自意識をコントロールする術に気づく。
 授業プリント

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
導入	①出欠をとる。 ②本時の目標を知る。 ③作文を書く。	②「今日は1時間で作文を書き、もう1時間で、人前で発表するときに上がらなくなるコツを伝授します」 ③ポイントを口頭で再確認する。 ア. 発表時間は3分。3枚以内の原稿を用意せよ。 イ. 話し言葉で書く。 ウ. 本のタイトル、具体的な言葉、いずれかを入れる。 エ. 自分の考え、経験、いずれかを入れる。 オ. この時間に書ききれない者は宿題とする。	5分
展開①	④机を前に寄せる。 ⑤「誰の話？」。 (1)授業プリントを配る。 (2)二人一組のグループを作る。 (3)発表の下準備をする。	⑤ (2)クラスの実情に合わせて任意の作り方で行う。 (3)お題を教授者が出し、授業プリントの問1から問3までをやらせる。 *お題はなるべくポジティブなものを。各人の発表時間は1分(指導者が計時する)。 *お題の例・・「今まで一番恥ずかしかった経験」 「一番楽しかったこと」 「忘れられない夏休みの思い出」 「もっと嬉しかったプレゼント」等 (4)一人1分。全員が同じエピソードをあたかも自分が経験したことのように話す。わくわくドキドキしながら話すのがポイント、と指摘する。 (5)本当は誰のエピソードなのかを当てられなかったら、発表したグループ全員に加点。当てられたら、当てた生徒に加点。当てるチャンスは二人まで。	40分
休憩(10分)			
展開②	(4)自分のグループの中で発表の練習をする。 (5)グループ全員が、クラスメートの前で発表する。		
まとめ	⑥机を元に戻す。 ⑦授業プリント問4・5、自己評価を記入する。 ⑧授業プリントを提出する。		5分

7 評価の観点
 ・御高評
 【一】 自意識をコントロールする術に気づけたか。

〔付録〕 学習指導案 解説／授業プリント 他

【付録】 学習指導案⑧ 解説

■「間違い探し」(導入④)

1. 名簿順2列で並ばせる。
2. 向かい合わせにして二人一組のペアを作る。
3. ジャンケンをする。負けた方が当てる人になる。
4. まず10秒間、A(負けた方)はB(勝った方)を観察する。
5. (10秒後)「二人とも後ろを向いてください」と指示。
6. (後ろを向いたら)「今から1分間で、Bは外見のどこかを3か所変えてください。例えば髪型の分け目とか、それをまぐるとか」と指示。
7. 1分後に向き合って、AはBが変わったところを指摘する。当たればBは拍手してあげる。間違ったら教えてあげる。
8. 「今度は逆です。BがAが変わったところを3つ当てましょう」と指示。
9. 4〜7を行う。
10. 片方の列が一人分、移動する。新しいペアになって2〜8を繰り返すが、今度は1分間で4か所変える。
11. 片方の列が一人分、移動する。新しいペアになって2〜8を繰り返すが、今度は1分間で5か所変える。
12. 片方の列が一人分、移動する。新しいペアになって2〜8を繰り返すが、今度は1分間で6か所変える。

■「形を作る」(展開⑥⑦⑧)

- ・ 10数える間に、ペアごとに一斉にモノの形を作る。
- ・ 相談、おしゃべりは禁止。
- ・ 相手に指示することも禁止。
- ・ できるだけ早くどちらかがオファーして、もう一人がそれに合わせるのがコツ。
- ・ 間違いはない。グループごとに見合つて、発想の違いを楽しめればOK。

【ステップ1】二人一組

〔例題〕 ナイフとフォーク、トイレトペーパー、カップとお皿、マッチと火、メガネ、ランドセル、ハサミ、自由の女神、東京タワー、通天閣、エッフェル塔、東京デイズニラランド、USJ、UFI、ハワイ、南極、北極、万里の長城、二輪車、三輪車、タクシー、バス停、イルカ、クジラ、ゾウ、犬、仲の悪い花瓶とバラ、幸せなやかん、泣いてる時計

【ステップ2】四〜六人のグループで

〔例題〕 お風呂、図書館、美術館、銀行強盗、学校、コンビニ、映画館、交番、エレベーター、教会、神社、お寺

【ステップ3】全員またはクラスを2つに分けて

- ・ 全員で一つの形を作る。
 - ・ まわりの空間を意識する。
 - ・ ファシリテーターは椅子の上に立ち、「私から見て、そのように見えるように形を作ってください」と指示。
- 〔例題〕 長方形、アルファベットの「A」や平仮名の「か」、漢字の「出」など

【付録】 学習指導案⑫ 授業プリント

■ 「短いシーンを作る」 (展開②)

【課題】 グループで、短いシーンを作ってもらいます。

- ・ 5人前後のグループで行います。
- ・ グループの全員が何かの役になって、セリフを言ってください。
- ・ 「いつ」「どこで」がわかるようにしてください。各グループで次の中から選んでください。
 - ▶ いつ : 早朝、お昼時、夕方、真夜中
 - ▶ どこで: 教室、体育館の裏、コンビニ、キッチン、喫茶店、寝室、試着室、教会
- ・ 必ず事件を起こしてください。
- ・ 5分間続けてください。
- ・ 授業の終わりに発表してもらいます。

1. グループのメンバーの、名簿番号と名前を書いてください。

--

2. 「いつ」「どこで」を選んでください。

・ いつ
・ どこで

3. 誰が登場しますか。それぞれの人物はどんな関係ですか。

--

4. どんな事件が起きますか。

--

【付録】 学習指導案⑬ 解説

■「5人の計画」について(展開②)

1. ねらい…話し合いの中で普段の自分とは違う役割を果たす経験をする
2. やりかた

(1) 五人組で実施。

(2) 計画のテーマを示す。

〔例〕

「山か海、どっちに遊びに行こうか？」

「遊園地に行きたい。どこへ行く？」

「今度の土日で遊びに行こう。どこへ行く？」

「文化祭の出し物」

「ユニバーサル・スタジオ・ジャパンとデイズニールランド、どっちに行こう？」

「学校は制服があったほうがいいか、完全私服にしたほうがいいか？」

(3) まずはなんの指示もなく、グループで話し合う。(2分間)

(4) カードをふせて配り、引いてもらう。自分の引いたカードの役割で、話し合いを続ける。(2分間)

〔カード〕

「常に、いろいろな提案をし続ける」

「常に、他人の意見に反対し続ける」

「常に、対立する意見の真ん中を取って調整しようとする」

「常に、誰の意見でも賛成する」

「常に、誰の意見でも揚げ足を取る(からかう)」

(5) 2分経ったら、グループ内の誰かとカードを交換する。「その指示通りの役割をしてください」と言う。議論は続きから自分の意見(立場)が変わった理由を言いながら、新たな役割を果たす。

(6) 時間が許せば、またカードを交換して、新たな役割となって議論を続ける。4回カードを交換して、すべての役割(立場)をやってみてもよい。

3. 振り返り

・あなたはどんな役割を果たしましたか。

・普段のあなたはどんな役割を果たしていますか。

・普段の自分と違う役割を果たしてみて、どんな気分になりましたか。

・「5人の計画」を通して、感じたこと・考えたことを書いてください。

4. 評価

・取り組みぐあいの観察 ↓ 態度

・振り返り ↓ 思考・判断・表現

【付録】 学習指導案⑬ 指示カード

常に、いろんな提案をし続ける

常に、他人の意見に反対し続ける

常に、対立する意見の真ん中を取って調整しようとする

常に、誰の意見でも賛成する

常に、誰の意見でも揚げ足を取る(からかう)

【付録】 学習指導案⑬ 授業プリント

■「短いシーンを作る(2回目)」(展開②)

【課題】 グループで、短いシーンを作ってもらいます。

- ・ 5人前後のグループで行います。
- ・ グループの全員が何かの役になって、セリフを言ってください。
- ・ 「いつ」「どこで」がわかるようにしてください。「どこで」は次の中からくじで決めることとします。
- ▶ いつ：早朝、お昼時、夕方、真夜中
- ▶ どこで：家のリビング、試着室、体育館の裏、エレベーターの中、ホテルの一室、お化け屋敷
- ・ 焦点となる人物(主人公)がわかるようにしてください。
- ・ 必ず事件を起こしてください。
- ・ 事件が起きた後も続けて、焦点となる人物だけでなく、登場人物全員の反応を描いてください。
- ・ 5分間続けてください。
- ・ 話し合いはワークシートを埋めながら進めてください。
- ・ 話し合いと練習で20分とります。
- ・ 時間になったら、全グループに発表してもらいます。

1. グループのメンバーの、名簿番号と名前を書いてください。

--

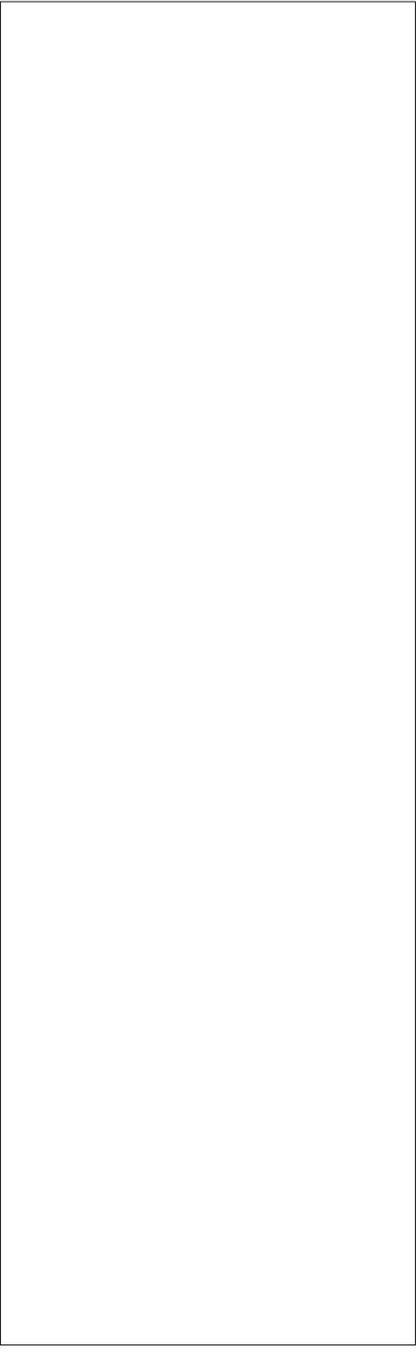
2. 場所はどこですか。それをどうやって観ている人にわからせますか。

--

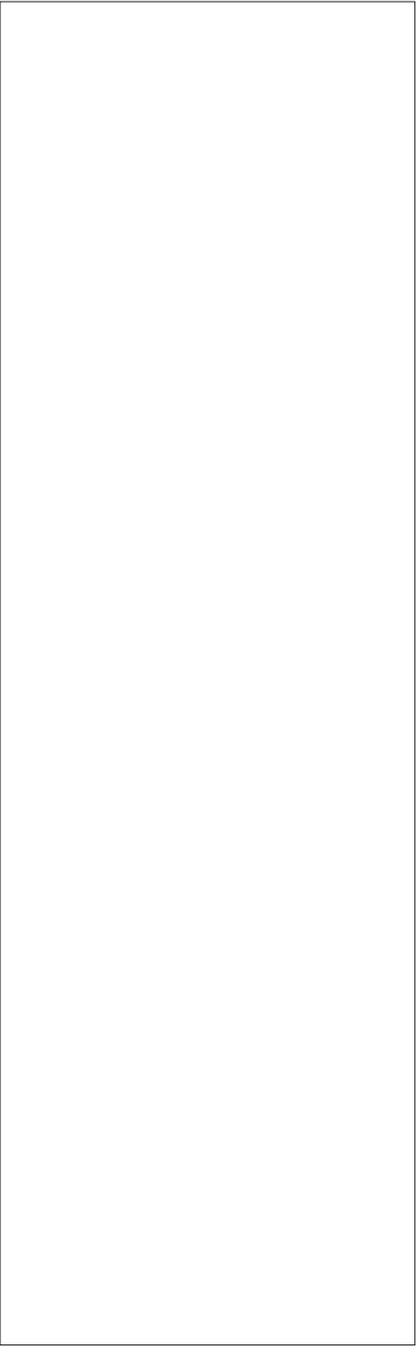
3. いつを選んでください。それをどうやって観ている人にわからせますか。

--

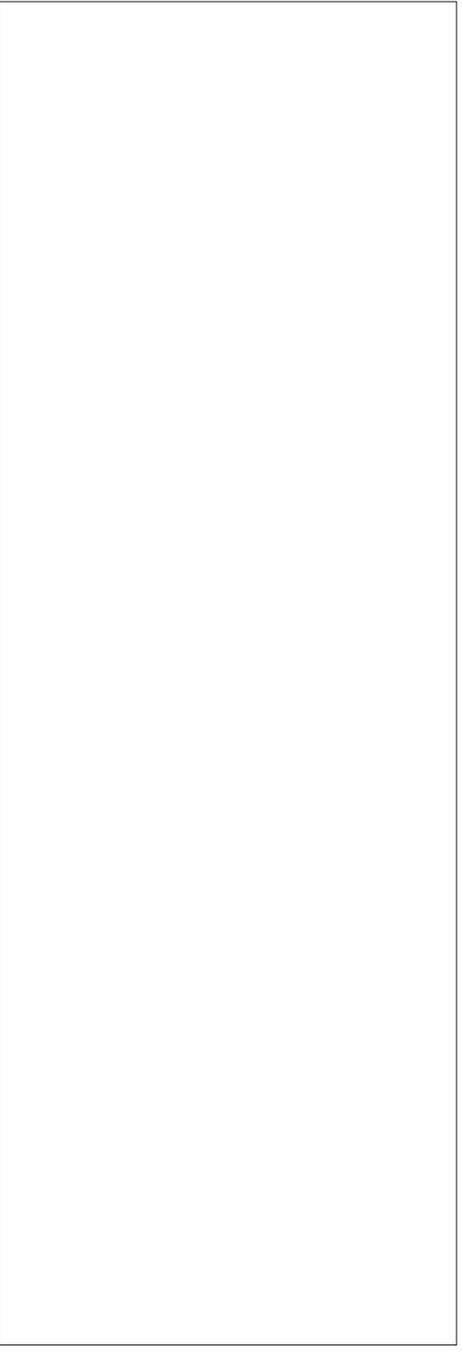
4. 誰が登場しますか。それぞれの人物はどんな関係ですか。主人公は誰ですか。どんな人が出てきたら面白くなるかを考えてみてください。



5. どんな事件が起きますか。



6. 事件に対して、登場人物はどんな反応をしますか。



【付録】 学習指導案⑭ 授業プリント

■「短いシーンを作る(3回目)」

【課題】 グループで、短いシーンを作ってもらいます。

- ・5人前後のグループで行います。
- ・グループの全員が何かの役になって、セリフを言ってください。
- ・シーンの内容は次の中からくじで決めることとします。

▶別れ話をする、両親に結婚の許しをもらう、朝帰りをする、待ち伏せをする、アルバイトの面接に行く、特別指導になる、好きな人に告白する

- ・「いつ」「どこで」がわかるようにしてください。
- ・ニュートラルな人物などいません。それぞれの欲求がわかるようにしてください。
- ・必ず事件を起こしてください。
- ・事件が起きた後も続けて、焦点となる人物だけでなく、登場人物全員の反応を描いてください。
- ・5分間続けてください。みなさんが普段の自分と違って、シーンの中の登場人物の仮面が付けられるといいですね。
- ・話し合いはワークシートを埋めながら進めてください。
- ・話し合いと練習で20分とります。
- ・時間になったら、全グループに発表してもらいます。

1. グループのメンバーの、名簿番号と名前を書いてください。

--

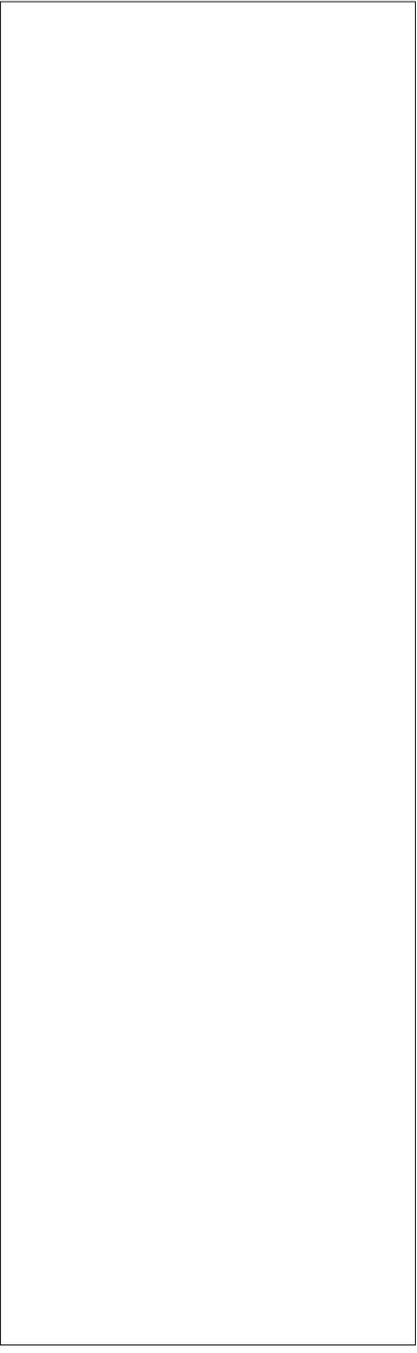
2. 場所はどこですか。それをどうやって観ている人にわからせますか。

--

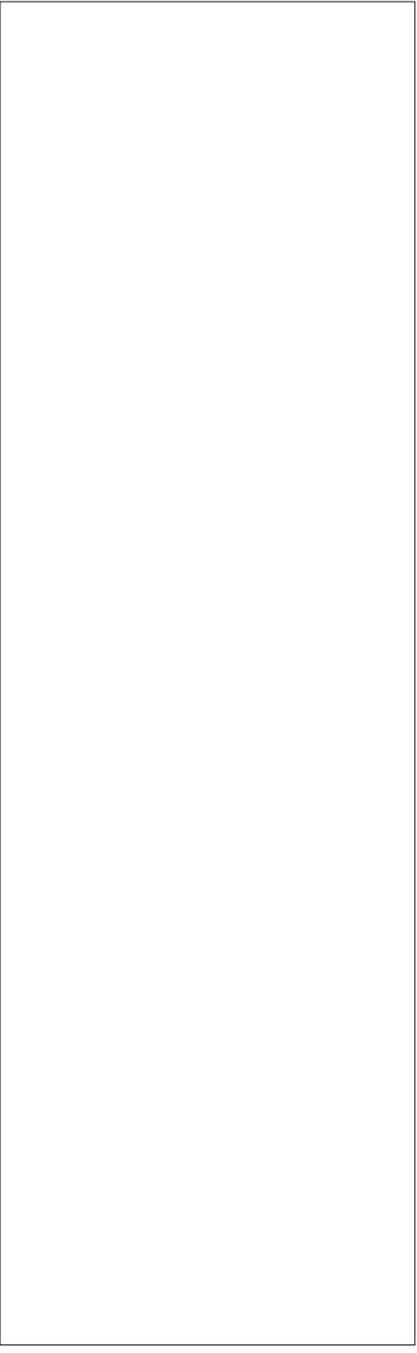
3. いつを選んでください。それをどうやって観ている人にわからせますか。

--

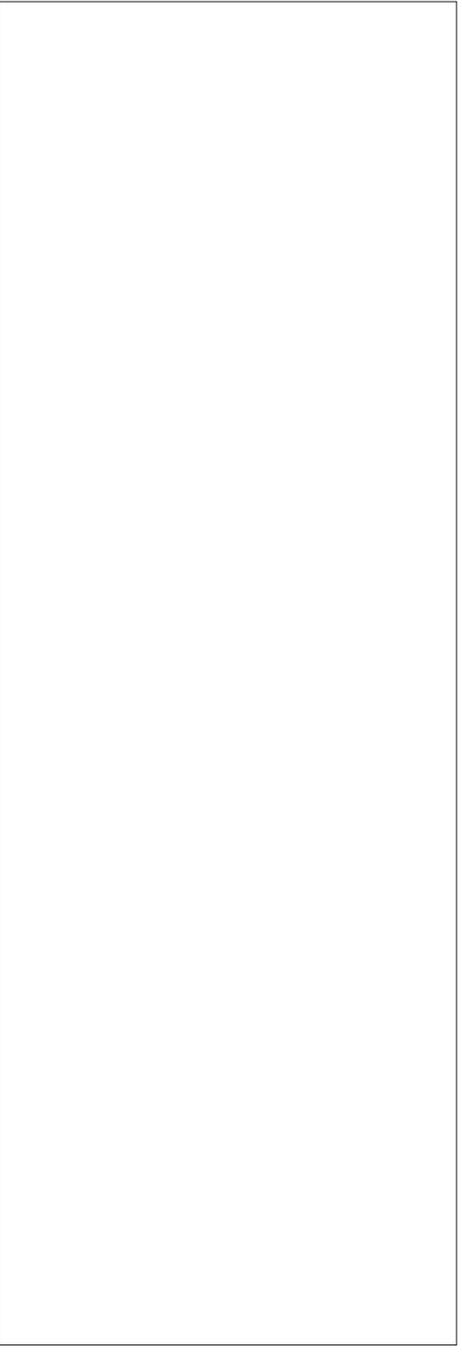
4. 誰が登場しますか。それぞれの人物はどんな関係ですか。どんな欲求を持っていますか。どんな人が出てきたら面白くなるかを考えてみてください。



5. どんな事件が起きますか。



6. 事件に対して、登場人物はどんな反応をしますか。それぞれが持っている欲求は事件でどのように変わりましたか。



【付録】 学習指導案⑰ 授業プリント

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

【これまでの時間で学んだこと】

- 応答の仕方ひとつで、話の弾み方が変わり、関係も変わってゆく。
- 「やりとりを妨げるもの」。
- ・ NOで答える。
- ・ あいまいな答え方をする。
- ・ 質問に質問で返す。
- ・ 消極的、後ろ向きな答え方をする。
- ・ ためらって答えない。
- 言われたことを受け入れ、きっぱりと話題に乗っかってゆく話し方を身につけよう。

問1. 練習のペーパーを組んだ人の名前をフルネームで書きなさい。

問2. 例題1のテストでペーパーになった人の名前をフルネームで書きなさい。

問3. 例題1のテストを受けて、考えたこと・感じたことを書きなさい。

問4. 例題2のテストでペーパーになった人の名前をフルネームで書きなさい。

【付録】 学習指導案⑱ 解説

■おとぎ話の典型的な流れ（ティピカル・ストーリー）（展開①）

・四～六人のグループで実施。

・円になり「おとぎ話の典型的な流れ」に従って順に話し、お話を作ってゆく。

「おとぎ話の典型的な流れ」

1. あるところに……
2. 毎日毎日……
3. ところがある日（時）……
4. そのおかげで（せいで）……
5. そして……
6. そして……
7. そして最後には……
8. その日以来……

・話し始めた人がお話にタイトルをつける。

*グループ全員がストーリーのはじめを体験すること。

【付録】 学習指導案⑱ 授業プリント

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

リベ国2学期は、みんなで話し合いができること・こだわりなく動くこと・自分で判断することを目標に授業を展開しました。皆さんが授業のテーマについて、どれくらい達成できたかを試す時が来ました。2期の総まとめの課題です。皆さん、頑張って取り組んでください。

【課題】

自分たちで戦力が均等になるようにグループ分けをして、以下のシチュエーションで5分以上のシーンを作ってください。

- ① 10代の娘とお母さん
- ② 20代の娘とお母さん
- ③ 40代の娘とお母さん
- ④ 60代の娘とお母さん

ただし、次の点を満たすようにすること。

ア. 場所がわかる イ. 登場人物の関係がわかる ウ. 事件が起きる エ. 事件に対して登場人物がそれぞれの反応をする

問1. グループを組んだ人の名前を書きなさい。グループリーダーに○をつけなさい。

問2. あなたのグループが作るようになったシチュエーションを書きなさい。

問3. あなたのグループが作るようになったシチュエーションに典型的な、娘と母親の問題は何ですか。→ テーマ・問題の設定

問4. 場所はどこですか。問3で決めた問題が一番露わになるような場所がいいです。また、その場所であることをどうやって観ている人にわからせますか。

